

## 令和 6 年度青森県伝統工芸品指定の概要

### てぶりがね てびらがね 「手振り鉦（手平鉦）」

黒石市

昭和 20～30 年代頃から、岩木山への登拝行事であるお山参詣に使用され始めたと言われており、現在では、青森ねぶた祭りや弘前ねぶたをはじめとする県内各地の祭りで使用され、欠かせない存在となっている。

原料となる真鍮板を切断する工程以外は全て手作業であり、金槌やならし床を用いて真鍮を打ち出すことで強度を高め、均一に圧力を加えることで良い響きに仕上がる。持ち手は激しい演奏に耐えられるよう、組み紐で編まれる。

【主な製造工程】切断→打ち出し→ならし叩き→研磨→金具作成・取付  
→持ち手・房取付→完成

【主な製品】手振り鉦（ねぶた、ねぶた、お山参詣用）

【製造者】有限会社小野商会（黒石市）

